

# 所管事務調査報告

十二月定例会最終日に、各常任委員会から、所管事務調査についての、中間報告がなされました。

## 総務常任委員会

平成十五年十月十五日から十七日までの三日間、大分県豊後高田市と福岡県二丈町で調査を行いました。

### 「昭和の町づくり」への取り組み

大分県豊後高田市

人口一万八、七〇〇人の豊後高田市は、国東半島の西側に位置し、地元商店街が、近年の大型店の進出や過疎化による後継者不足で、衰退をたどってきた。歴史的調査の結果を踏まえ、商店街が最も活性化していた、昭和三〇年代をテーマに研究が重ねられ、再生が図られてきている。

市の総合計画により、商店街の活性化策として「レトロをテーマにした街づくり」の方向性が示



昭和の町並みが再現されている（豊後高田市）

され、看板を昭和風に改修するなど、商店街の景観の統一化が図られている。

さらに、中心市街地空き店舗対策事業の導入、市単独の「一店一宝」等展示施設整備事業を実施し、代々伝わる職業道具や骨董品等を展示するとともに、一店一品を掲げ、その店自慢の商品販売に力を入れている。

#### 商店街の

一角にある駄菓子屋「夢博物館」は、昭和前期の懐かしい「おもちや」や「ポスター類」など五万点がびっしりと展示され、「昭和の町」の核施設となつて

いる。月一万人以上が訪れ

る商店街は、活気を取り戻し、店主の意識もやる気も変わってきており、「昭和の町」づくりに対する自負が何えた。

### 「行政評価システム」への取り組み

福岡県二丈町

人口一万三、九〇〇人の二丈町は、福岡市と唐津市の中間に位置し、総合計画で町づくりの基本を「協働」と位置付け、

「協働の町づくり」を実現するため、「二丈町住民参加まちづくり条例」を

施行し、計画、実行、評価の各段階で、町民が参加するとともに、毎年評価を実施し、事業の改善に努めている。

協働のまちづくりの実現には、長期総合計画基本項目について、全職員



福岡県二丈町での事務調査